

一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会

2022 年度第 1 回理事会議事録

開催日時： 2023 年 5 月 20 日（土） 15：00 より 17：00

開催場所： ステーションコンファレンス東京 「402CD」会議室  
（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー）

出席理事（五十音順）：

赤間 高雄 大森 豪 勝川 史憲 高橋 敏明 津下 一代  
土屋 明弘 土肥美智子 鳥居 俊 中川 泰彰 馬場 礼三  
藤谷 博人 細井 雅之 牧田 茂 松本 秀男 山澤 文裕  
山下 敏彦 吉矢 晋一

出席監事： 永富 良一 原 邦夫

議事録作成者： 松本 秀男

議長： 山澤 文裕

上記のとおり出席があり、本理事会は適法に成立したので、山澤文裕は議長となり開催する旨を宣した。

議案及び決議事項は以下のとおりである。

議事の経過の要領及びその結果

（1）議長選任

理事長（代表理事）松本 秀男は、開会に当たり、議長として理事 山澤 文裕を指名したところ、同人は直ちに議長就任を承諾した。

（2）定足数の確認

議長は本日の出席が理事 17 名であり、理事総数 25 名中 17 名の出席を得て、定款 35 条第 1 項の「理事の過半数が出席」していることにより理事会が有効に成立したことを報告した。

理事長および副理事長は 2022 年度前半の業務執行報告を行った。

（3）議案の審議状況及び議決結果等

審議事項

第 1 号議案 2022 年度 理事選挙について

議長は、2022 年度理事選挙についてスケジュールおよびそれに関する定款や規則について確認した。選挙管理委員会について、理事長の推薦した吉矢晋一委員長および選任した構成委員が満場異議なく承認された。理事会終了後開催の選挙管理委員会にて詳細を決定することとする。

#### 第 2 号議案 名誉会員候補について

議長は、理事長が推薦した松本 秀男先生、吉矢 晋一先生、および谷 諭先生について承認を求めたところ、満場異議なく承認された。定時総会にて承認いただくこととする。

#### 第 3 号議案 今後の AC2020 の名称変更を含めた会議体の方向性についての提案について

議長は、AC2020 より提案のあった、今後の AC2020 の会議体の方向性についての提案、名称および英語表記の変更案の提案について、承認を求めたところ、同意することで満場異議なく承認された。

### 報告事項

#### 2022 年度中間報告

##### 1. 2022 年度 学会員数中間報告

議長は資料に基づき 2022 年 10 月 1 日から 2023 年 4 月 12 日までの学会員数について報告した。正会員が微減となっている。学術集会の演題登録が進むに連れて、会員数は増加すると想定される。年会費未納者は昨年度より減少しており、7 月に事務局より再請求をすることとする。

##### 2. 2022 年度中間収支報告

議長の指名により財務委員会委員長 理事 吉矢 晋一は資料に基づき 2022 年 10 月 1 日から 2023 年 4 月 13 日までの収支について報告した。第 33 回学術集会は収支均衡となっていることが報告された。

### 各委員会審議・報告事項

#### 総務委員会

##### 倫理・COI 小委員会報告

##### 学術集会時の COI 開示フォームの策定について

倫理・COI 小委員会委員長 理事 津下 一代は、COI に関する指針および細則が今年度の始めに改訂されたため、学術集会での発表時 COI 開示フォームを新たな指針および細則に照らして策定したことが報告され、承認した。

## 財務委員会

### 委員会報告および審議依頼

財務委員会委員長 理事 吉矢 晋一は、学会の財政状況について報告した。2021年度末に1億794万円の繰り越しがあったが、昨今の学術集会の収支状況の悪化傾向や学会活動の活発化が予想される等により、近年は赤字予算となっているため、学会費の引き上げが提案された。准会員および正会員の入会金を5,000円（10,000円より引き下げ）、年会費を正会員は10,000円より13,000円へ引き上げ、准会員は6,000円より8,000円に引き上げることが提案され、承認された。定時総会にて承認頂くこととする。2023年度から引き上げが可能かどうかを確認することとする。

学生会員から継続して正会員もしくは准会員になる場合は、入会金は不要とすることが提案され、細則に記載をすることとする。

## 編集委員会

### 1. 学会誌発行費用について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、用紙代の値上げの影響により、学会誌の発行費用が増加となっているため、資料に基づき印刷体での発行を止めることにより、全体の費用が縮減されることを提案し、その方向にて進めていくことの方向性は承認された。電子ジャーナル J-STAGE 掲載のための XML データ作成は株式会社ソービックに依頼することが承認された。今後は印刷体での発行を止め、電子ジャーナル化とすることについて、会員へアンケートを取ることに進めていくこととする。

### 2. 学会誌投稿状況について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、2020年度、およびオンライン投稿システム導入後の2021年度と4月12日までの2022年度の投稿総数と査読状況について報告した。オンラインシステムにより、査読が順調に進められていることを報告した。

### 3. 第33回学術集会依頼原稿論文状況について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、第33回学術集会の学会誌掲載依頼原稿寄稿状況を報告した。教育研修講演9と教育研修講演12が2号に掲載されており、残りの原稿は3号に掲載することが報告された。

## 学術委員会

### 1. 2022年度各部会中間報告

学術委員会委員長 理事 鳥居 俊は、健康スポーツ部会および競技スポーツ部会の中間活動報告を行った。公開シンポジウムが健康スポーツ部会のサステナブル小委員会の担当により、4月にハイブリッド形式で開催されたことを報告した。

## 2. チームドクターに関する業務委託契約書について

理事 山澤 文裕は、学術委員会競技スポーツ部会調査研究小委員会にて作成した、スポーツドクターの医行為に関する法的整備を目的とした業務委託契約書（チームドクター・競技会ごと）について、会員にパブリックコメントを求めて修正をしたものを提案し、承認された。今後は、雛形として日本スポーツ協会、日本医師会に対して働きかけをしていくことが報告された。

## 資格審査委員会

### 1. 准会員資格審査基準改訂について

資格審査委員会委員長 理事 藤谷 博人は、会員の歯科医師より要望があった件について、歯科の武田理事のご意見を踏まえた上での改訂案の提案があった。国家資格である歯科衛生士の文言のみを加え、2の「資格審査委員会が認めたスポーツ医学関連の資格を有するもの」の記載から資格としての整合性がとれない表現である「日本トレーニング指導協会」の記載を削除し、掲載することにて承認された。

### 2. 准会員審査結果

資格審査委員会委員長 理事 藤谷 博人は、2022年10月1日から2023年4月13日の期間で准会員資格審査の対象となった23件について報告した。所持資格としては理学療法士が一番多く、また研究機関の所属の方も多く、全員合格であったことが報告された。

## 研究倫理委員会

### 委員会報告

研究倫理委員会委員長 理事 牧田 茂は、学術集会の演題登録時に、3月30日に公表された「日本医学会連合研究倫理委員会 学術集会の演題応募における倫理的手続きに関する指針」を参考にして、演題応募のカテゴリー分類と会員の倫理審査についての調査を行っていること、および今後は調査の内容により、方向性を検討して行くこととすることが報告された。

研究倫理に関する倫理研修義務化については、国からの指針ガイダンスにより年に一度の受講が望ましいとのことであるが、他学会の研修義務化の状況やカリキュラムの規定の有無の状況の確認を踏まえて進めていくことが報告された。

## 広報委員会

### 委員会報告

総務委員会委員長 理事 山澤 文裕は、島田 和典 理事（広報委員会委員長）の代理として、報告した。会員専用サイトへのログインされた数は定期的に確認をし

ていくこと、メールアドレスの有効登録の割合は約 90%であることが報告された。会費納入ページ、准会員から正会員への申請関連、学生会員関連の構築、スポーツ医学現場見学・研修マッチングプログラムの構築が終了し、オープンしたことが報告された。COI 申告についての WEB での申請システムの構築も検討をして行くことが報告された。

## 国際委員会

### 1. AMSSM との連携について

国際委員会委員長 理事 松本 秀男は、4月に AMSSM でのミーティングに参加したことを報告し、今年には日本からフェロー1名（濱井先生）が参加し、来年はアメリカから1名がフェローとして来日することが決まっており、今後も交流を続けて行くことが報告された。

### 2. KSSM との連携について

国際委員会委員長 理事 松本 秀男は、今年の横浜での学術集会時に計4名が来日し、学術集会時に英語セッションで発表頂く予定であることが報告した。

### 3. 国際委員の新任について

国際委員会委員長 理事 松本 秀男は、ヨーロッパ担当委員として古賀英之先生が就任したことを報告した。

## 教育研修委員会

### 委員会報告

教育研修委員会委員長 理事 大森 豪は、スポーツ医学現場見学・研修マッチングプログラムの準備状況について報告した。6月1日予定で学会ホームページにアップし、会員へ周知し運用を開始する予定であることが報告された。

## その他の報告事項

### オリンピック・パラリンピック総括委員会作成の報告書について

理事 赤間 高雄より、学会誌 31 巻 3 号に掲載をする予定にて、報告書の原稿提出が終了したことが報告された。

### 第 34 回学術集会進捗状況について

理事 勝川 史憲は、進捗状況について報告した。一般演題は 4 月 26 日から募集が始まっているが、演題登録時に COI の自己申告、研究倫理審査の実態調査および学会としてのダイバーシティの状況を確認するため筆頭演者の性別の実態調査も行う

ことが報告された。

#### 第 35 回学術集会 第 36 回学術集会予定について

理事 大森 豪は、第 35 回学術集会を 2024 年 11 月 16 日（土）、17 日（日）の 2 日間、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにおいて開催する旨を報告した。

続いて理事 津下 一代は、第 36 回学術集会を 2025 年 11 月 2 日（日）、3 日（月・祝）の 2 日間、幕張メッセ 国際会議場において開催する旨を報告した。

#### 定款への事業の追加について（2021 年度第 3 回理事会にて承認された議案）

議長は、前回の理事会では承認されたが、総会で参加者数不足のため、決議できなかった定款への事業の追加について提示した。

#### 次回の理事会日程の件

議長は、次回の理事会を学術集会前日の 11 月 10 日に行われる旨を述べた。

以上を以て、審議すべき予定につき全て了したので、議長は閉会を宣し、17 時 00 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し定款第 36 条第 2 項の規定により以下に記名押印する。

2023 年 5 月 20 日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

理事長	松本 秀男	代表印
議長 副理事長	山澤 文裕	Ⓔ
監 事	原 邦夫	Ⓔ
監 事	永富 良一	Ⓔ